



BSI Aerospace 最新情報

新型コロナウイルスに対する審査の
対応について(第4版) 2020年12月19日

お客様各位

平素は格別のご高配を賜り誠に有難うございます。

本日は、新型コロナウイルスに対する審査の対応について監督機関からの通達情報（2020年11月24日付）に更新がございましたので、その内容と対応についてご案内申し上げます。

背景

新型コロナウイルス（COVID-19）の発生に関する状況は急速に変化している状況であり、世の中全体で先行きが見通せない中、お客様におかれましても大変不安なお気持ちを抱えられているかと存じます。皆さまのご不安を少しでも緩和できるよう、BSIはお客様及び従業員の健康及び安全確保を最優先事項として、サービスを継続的にご提供できるよう取り組んで参ります。引き続き、お客様や監督機関と密に連絡をとりながら、タイムリーな情報提供に努めさせていただきます。

BSIでは審査員の健康管理については万全を期して、皆さまの認証が維持できるよう審査サービスを継続的に提供しております。しかしながら、お客様の方で新型コロナウイルスの発生によって以下のような直接的な影響を受けられた場合、速やかにBSIへご連絡いただきますようお願い申し上げます。

- **御社社内（又は取引先や業務委託先）で感染者が発生し、御社の事業活動が一部/全部停止して、審査が実施できない場合**
- **政府の方針やその他の関連機関の要請を受けて、御社の事業活動が一部/全部停止して、審査が実施できない場合**

新型コロナウイルスの発生によって直接的な影響を受けていることが確認された場合、その時点で有効な監督機関からの通達要求に従って審査の延期について協議させていただきたいと考えております。この場合、キャンセル費用等は発生いたしませんのでご安心ください。

しかしながら、新型コロナウイルスの発生によって直接的な影響を受けていることが確認できない場合の審査の延期や日程変更は、認定ルール上、ご対応することが難しい状況です。

また、認定ルールの範囲の中で日程変更ができたとしても、契約条件に記載されておりますキャンセルポリシーの適用となってしまいますので、ご注意くださいようお願い申し上げます。（審査開始日より30日未満の変更から対象となります）

Continued >>

bsi.

...making excellence a habit.™

<BSIの対応>

新型コロナウイルスの影響により通常の審査の実施が困難である場合、全ての審査（初回認証、サーベイランス、再認証、スコープ・サイトの変更、移転、特別審査）は、最大100%のICT審査（情報通信技術を用いたリモート審査）により実施することが認められました。そのため、BSIでは、新規・既存認証組織における全ての審査について新型コロナウイルスの影響により現地審査が困難（※）な場合、審査はICT審査を用い、計画された審査活動を最大限実施することにより、日程及び次回以降の審査への影響を最小限にすることを基本方針として対応をさせていただきます。なお、ICT審査を実施することが困難で認証書の期限への影響がある場合、IAQGの通達に従い対応をさせていただきます。なお、初回認証審査及びスコープ・サイトの変更の100%ICT審査を実施する場合は RAFA（Remote Audit Feasibility Assessment リモート監査の実現可能性評価）を実施する必要があります。

※審査は現地審査が原則であり、新型コロナウイルスに関する特別対応は工場の停止を行うような場合や、従業員に感染者または濃厚接触者が存在し、審査員を含む他の審査参加者にリスクを及ぼす可能性がある場合、法規制による制限などが対象となります。

<通達の概略>

CB（認証機関）は、新型コロナウイルスの影響によって影響を受ける審査のリスク軽減の一部として、次の緩和策を利用できます。

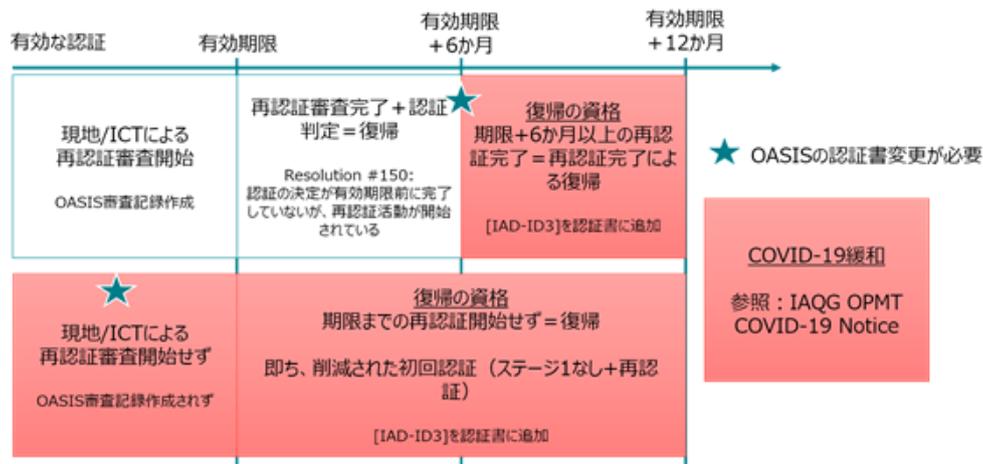
- 審査予定日を逃したために認証書を一時停止する必要はありません
- 不適合検証活動を完了するために90日間の延長が許可されています。
- 最初のサーベイランス監査の日付は、最初の認証決定日から18か月以内に発生するものとします。
- ICT審査（情報通信技術を用いたリモート審査）は、審査期間の30%以上使用することが可能です。ICT審査は、IAF MD4:2018に従って実施されるものとします。
 - 全ての審査（初回認証、サーベイランス、再認証、スコープ・サイトの変更、移転、特別審査）は、最大100%のICT審査が可能です。
 - 審査中に評価できない活動は、2021年のサーベイランスまたは再認証審査に移され、審査期間が長くなります。
 - 審査の価値を高めるために、ビデオとライブストリーミングの使用が推奨されます。
 - 審査計画と審査レポートは、ICT審査の使用を明確に示すものとします。
- 新型コロナウイルスの影響により認証書の有効期限が失効する場合、認証書に[IAFID3]が付加され、有効期限が切れた認証書は、ペナルティなしで有効期限を超えて最大12か月間復帰する資格があります。
 - 認証書は、再認証審査基準と審査期間を使用して、ステージ1審査なしで、OASISの最初の認証審査を利用して復帰できます。

<通達の詳細場所>

- IAQG OPMT ICOP Resolution Log
- IAQG COVID-19 Information
- IAF MD4:2018「認証審査/認定審査を目的とした情報通信技術（ICT）の利用に関するIAF基準文書」

Continued >>

<図：認証書の有効期限、復帰>



CB（認証機関）は、新型コロナウイルスの影響によって影響を受ける審査のリスク軽減の一部として、次の緩和策を利用できます。お客様各位におかれましては、新型コロナウイルスに関して、審査実施に関する懸念事項が発生した場合には、BSIへ速やかにご連絡いただきますようお願いいたします。

お客様からご連絡を頂いた後、必要な情報のご提供をお願いする予定です。今回の措置を適用した時の判断の状況を文書化することが、IAQGから各審査機関に要求されております。BSIとしても、その要求に従い、根拠をエビデンスとともに記録させていただきたいと考えております。その後、認証継続のリスクを評価し、適宜、監督機関との協議も通しながら、方針を決定しお伝えすることになります。

一方、審査員自身が感染源となり、お客様にご迷惑をお掛けしてしまう事態も想定されます。BSIといたしましても、このような事態に遭遇した場合は速やかにお客様に連絡し、適切な対応を協議させていただきたいと考えております。

BSIはお客様の安全の確保並びに安定したサービスを継続的にご提供するため、万全の体制で対応してまいります。

ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

BSI グループジャパン株式会社（英国規格協会）
自動車・航空機セクター部

この連絡書に関して質問がある場合はBSIまでお問い合わせください。

■お問い合わせ先

BSI グループジャパン株式会社（英国規格協会）
自動車・航空機セクター営業部 小野寺・内田・緒方
神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-7-1 OCEAN
GATE MINATO MIRAI 3 階
電話番号 045-414-3021
Email : sales.Japan@bsigroup.com